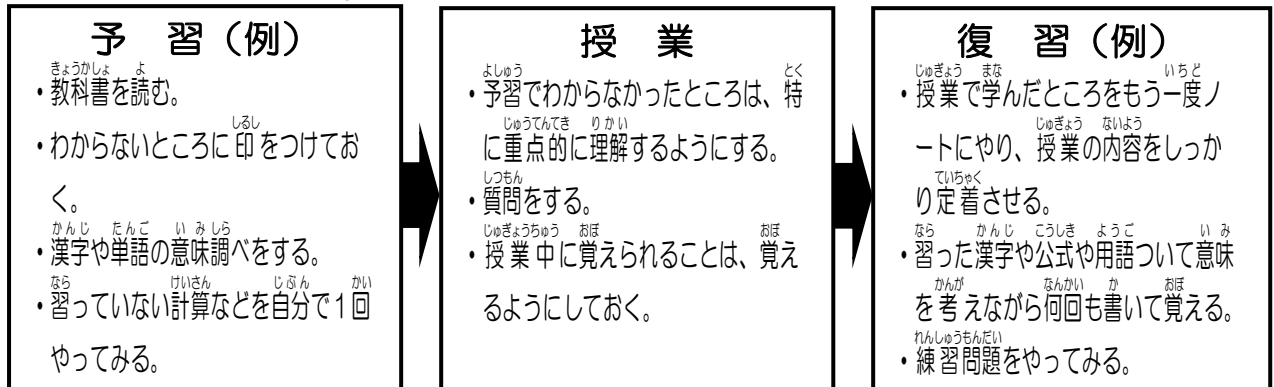


## II 家庭学習の手引き

学習を効果的に行うには、授業を大切にすることが重要です。その授業での理解を高めるためには家庭学習が不可欠です。学習環境を整え、決まった時間に決まった場所で計画的な学習を進めていけば、授業への姿勢が意欲的になり、効果が上がります。

予習をすることで、次の授業への課題意識が生まれ、より意欲的に授業に参加できます。また、授業で理解したことを家庭でもう一度復習することで、しっかり身につけることができます。



まずは、上のように予習→授業→復習の学習サイクルをしっかり身につけることが大切ですが、他にも自主的に、授業を通して出た新しい疑問や興味を持ったことを、「図書館」「インターネット」「新聞」などでも調べてみましょう。新しい発見があるかもしれません。また、授業で身につけたことは生活に生かすことも大切です。

ここでは、無理なく家庭学習を続けるための3つのポイントを紹介します。

**ポイント1：家庭学習時間は、「学年(5,6年生)×10分+10分」が目標です。**

『「平凡」の繰り返しは「非凡」になる。』学力向上も一朝一夕にできるものではありません。毎日毎日の小さな積み重ねによってのみ、大きな実力となって身に付いてきます。5年生=60分、6年生=70分が家庭学習の目標時間です。きつい時もあると思いますが、できるだけ目標に向かって努力してほしいと思います。

**ポイント2：規則正しい生活をする。**

- ①決まった時間に寝る・起きる。
- ②朝食を食べる。
- ③余裕を持って登校する。
- ④テレビやゲームなどの時間を決める。

**ポイント3：学習意欲を高める。**

- ①前の自分よりできた、できるようになりたいと思う。
- ②将来の夢を持つ。(なりたい職業について考える、志望校を決めるなど)
- ③具体的な目標を持つ。(〇〇ができるようになる。テストで〇〇点をとるなど)
- ④まず、これだけは誰にも負けないという得意教科をつくる。